

製品名: PDK2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab15919**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	46kDa

抗原情報

遺伝子名	PDK2
別名	PDK2; PDHK2; [Pyruvate dehydrogenase [lipoamide]] kinase isozyme 2; mitochondrial; Pyruvate dehydrogenase kinase isoform 2
遺伝子 ID	5164.0
SwissProt ID	Q15119
免疫原	抗血清はヒト PDK2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 260-309

背景

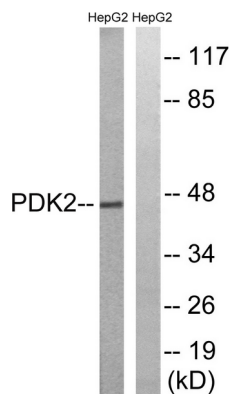
この遺伝子はピルビン酸脱水素酵素キナーゼファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質はピルビン酸

脱水素酵素をリン酸化することで、ミトコンドリアピルビン酸脱水素酵素複合体の活性をダウンレギュレーションします。この遺伝子の過剰発現は、がんと糖尿病の両方に影響を及ぼす可能性があります。この遺伝子には、複数のアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが観察されています。 [RefSeq 提供、2010年12月],触媒活性: ATP + [ピルビン酸脱水素酵素 (アセチル基転移)] = ADP + [ピルビン酸脱水素酵素 (アセチル基転移)] リン酸。機能: E1 アルファサブユニットのリン酸化によってミトコンドリアピルビン酸脱水素酵素複合体を阻害し、グルコース代謝の調節に寄与します。類似性: PDK/BCKDK タンパク質キナーゼファミリーに属します。類似性: 1つのヒスチジンキナーゼドメインを含みます。組織特異性: 多くの組織で発現し、心臓と骨格筋で最も高く、脳、腎臓、膵臓、肝臓で中程度、胎盤と肺で低いレベルです。、

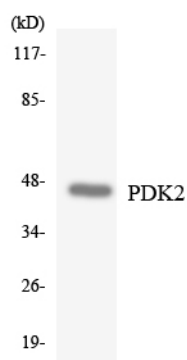
研究分野

シグナル伝達

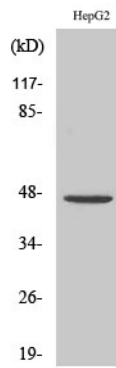
画像データ



PDK2抗体を用いたHepG2細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



PDK2抗体を使用したHepG2細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



PDK2 ポリクローナル抗体を 1: 500 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。